



上/大人に負けない好勝負を見せた「ちびっこ相撲」
左/豪快な技が決まるたびに歓声があがりました

2

NEWS

鎮守の森に歓声響く 赤坂西野区ふるさと相撲大会

赤坂西野区の恒例行事「ふるさと相撲大会」は十月四日、名下地内の熊野神社境内で開かれ、迫力ある取組が繰り広げられました。
大会には村内外から八人の力士が参加。勝ち抜くまで続く飛び三人抜き、五人抜き、七人抜きをはじめ、横綱の土俵入り、小学生による「ちびっこ相撲」などが次々と披露され、鎮守の森に歓声が高まりました。
また、同日の夜には、こどもセンター園庭で豊年踊りも行われ、踊りを楽しむ大勢の人たちで賑わっていました。

1

NEWS

園庭に子どもたち元気な姿 こどもセンター親子運動会

左上/かぼちゃ畑にレッツゴー!! (こすす組)
左中/ちびゴリラとバナナとり (ばら組・親子)
左下/どんぐりひろって トトロにあげよう (すみれ組・親子)
右/カードのうらはなはなに? (あやめ組・親子)



こどもセンターの親子運動会は九月二十六日、同センター園庭で行われました。
競技(演技)では、全員でラジオ体操を行った後、玉入れや紅白リレー、障害物競走などのおなじみの種目のほか、クラスごとに工夫を凝らした種目を次々と披露。子どもたちは、保護者の声援を受けながら元気いっぱい園庭を駆け回っていました。
また、小学生やお年寄りなども競技に参加し、楽しいひとときを過ごしていました。



右上/玉入れ (4・5歳児と祖父母)
右下/いさんでおにたいじ (ばら・あやめ組)
左/大地をけて よーいどん!! (4・5歳児)



3

NEWS

学校給食「日本一」を目指す 第4回全国学校給食甲子園出場決定



全国学校給食甲子園決勝大会出場を決めた献立

地元の食材を使っておいしきや栄養価などを競う第四回全国学校給食甲子園に、鮫川村学校給食センターが北海道・東北ブロック代表として出場します。
大会には、全国から一五五二の学校給食調理場が参加。書類選考を通過した全国六ブロック代表・計十二チームが大会に挑みます。
決勝大会は十一月八日、東京都駒込の女子栄養大学で行われ、村給食センターチームは地元農産物たっぷりの給食で、日本一を目指します。

4

NEWS

鮫川の最初の一滴を確認 上遠野小学校(いわき市)が鮫川を探検



鮫川の最初の一滴を目指す子どもたち

上遠野小学校四年生の遠足「鮫川源流探検」は九月二十五日、戸草地内で行われました。遠野地域の飲み水や農業用水として利用され、遊び場として親しまれている「鮫川」のルーツをたどろうと、児童三十人が村を訪れました。
子どもたちは、鮫川漁業協同組合理事の齋須寛一さん(字新宿)の案内で、戸草地区から国有林内を歩き、鮫川の最初の一滴を確認しました。

作品募集

Samegawa Village PHOTO CONTEST

鮫川村フォトコンテスト

募集
締切

平成21年
11月20日(金) 必着
作品受付 11月2日(月)~20日(金)

テーマ

鮫川村の四季 をとらえた風景

表彰

特選(1点) 賞金10万円
準特選(2点) 賞金3万円

特選(1点)	賞状・賞金10万円・副賞
準特選(2点)	賞状・賞金3万円・副賞
入選(9点)	賞状・賞金5千円・副賞
福島民報社賞(3点)	賞状・副賞
福島民友新聞社賞(3点)	賞状・副賞

※入賞作品につきましては、後日原版(銀塩写真の場合はネガ・ポジ・スライドを、デジタルカメラの場合はJPEG形式で保存したCD)を提出していただきます。

■応募先・問い合わせ

〒963-8401
福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5
鮫川村役場企画調整課「鮫川村フォトコンテスト」係
電話 0247-49-3115 FAX 0247-49-3363
Eメール kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp

撮影地域 鮫川村内に限ります。
応募規格 カラー四つ切またはワイド四つ切(デジタルカメラ可)で、平成20年1月1日から平成21年11月20日までの間に撮影し、鮫川村の四季(春夏秋冬)を表現したもの

- 応募資格および条件**
- ・居住地(村内・村外)、プロ・アマは問いません。
 - ・応募いただいた作品の著作権は鮫川村に帰属します。
 - ・応募作品は原則として返却しませんが、返却を希望される場合は、応募用紙に返却方法を記入の上、返信用封筒に切手を貼ってコンテスト係まで送付してください。
 - ・入賞作品は、カレンダーや村ホームページ、各種パンフレットに使用します。
 - ・作品は、他のコンテストなどに入賞(入選)または応募したものは除きます。
 - ・応募点数は制限しませんが、入賞(入選)は1人1点とさせていただきます。

審査発表 11月21日(土)に審査し、入賞者に通知するとともに、11月28日(土)に行われる郷土料理を楽しむ会の席上で表彰を行います。

作品展示 今回応募いただいた作品を、村公民館視聴覚室で展示します。なお、村ホームページ上に入賞作品を紹介します。

展示日 11月22日(日)・23日(月)

主催 鮫川村
後援 福島民報社、福島民友新聞社



7 NEWS

携帯電話で中秋の名月を撮影 鹿角平天文台で観察会



名月を撮影する参加者

中秋の名月の十月三日、鹿角平天文台で月の観察会「名月とつたろう会」が行われました。

観察会には家族ら十五人が参加しました。天文愛好会会員の講師に紙製アダプターを製作。同天文台望遠鏡の接眼鏡に携帯電話のカメラレンズを近づけ、月を撮影しました。

参加者は、幻想的に浮かび上がった名月をカメラに収め、秋の深まりを感じていました。

5 NEWS

登山を通して親睦深める YAMA大好き苦楽部が小野嶽(おのだけ)登山



小野嶽山頂で

村内の登山愛好者で組織する「YAMA大好き苦楽部」(本郷弘義会長)では、今年第五回目の登山として、九月二十七日に下郷町の「小野嶽」(標高一三八三m)に登りました。

参加者は五人と少なかったものの、登り始めると森の中は紅葉が始まっていて、ヤマブドウやウルシの葉が一足早く鮮やかな色に染まっていました。登山道の周辺には、ブナの原生林があり、その迫力に圧倒されながらの登山でした。(記事・写真提供：YAMA大好き苦楽部)

8 NEWS

ゲートボールで交流深める 第21回老人クラブと鮫川校生とのふれあいゲートボール大会



競技を楽しむ参加者

第二十一回老人クラブと修明高校鮫川校生とのふれあいゲートボール大会は十月二十一日、さざり荘ゲートボール場で行われました。

老人クラブ会員と鮫川校生が交流を図り、健康づくりと体力の維持向上を目的として実施。老人クラブ会員と鮫川校生八十八人が参加しました。試合は、混合チームで行われ、参加者は、競技をしながら楽しいひとときを過ごしました。

6 NEWS

村内をきれいに 小学生が道路クリーンアップ



道路沿いのごみを拾い集める子どもたち

村防犯協会と村教育委員会主催の道路クリーンアップは十月十日、村内各所で行われました。村内の小学生や関係者など約百人が参加。開会式で、同協会長の大薬村長、梁取一男県不法投棄対策室長があいさつしました。参加者は、十四班に分かれ、国道二八九号や三四九号、県道などの道路沿いに投げ捨てられた空き缶やペットボトル、紙くずなどを分別しながら拾い、村内をきれいにしました。